

科目名	人文科学Ⅱ Human Science II			担当教員	田口 淳		
学年	4年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120043	単位区分	履修単位
学習目標	目標区分 (A-1)：倫理観－倫理観を育て社会貢献の意義を理解・表現できる。 (A-2)：広い視野－国際的観点から多面的な意見を述べられる。 (A-3)：技術者倫理－技術の発展の功罪，技術者の責任を述べられる。 教育に関する基本的知識を身につけながら，現代社会が抱えている教育的諸問題への関心を深めるとともに，自分自身の教育観の形成を目標とする。						
進め方	講義形式を基本とし，プリント教材を用いながら進めていく。 適宜，新聞記事の紹介または視聴覚教材を通して，授業内容を理解する手助けとしていく。 教育に関するテーマで，グループ討議もしくは個人発表を行う。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 教育とは？(2) 2. 教育観の史的展開(28) (1) 原始時代の教育観 (2) 古代ギリシャ時代の教育観 (3) 中世の教育観 (4) 近世の教育観 (5) 近代の教育観 (6) 現代の教育観			教育の基本的概念を理解し，説明ができる。 各時代における教育観のポイント並びにその変遷の大きな流れが説明できる。			
	前期末試験						
	＊試験返却・解説(1) 3. ペスタロッチの教育思想(13) (1) 生涯 (2) 居間の教育 (3) 直観の原理 (4) 基礎陶冶の理念 4. ヘルバルトの教育思想(16) (1) 生涯 (2) 教育の目的 (3) 子どもの管理 (4) 教育的教授 (5) 訓育 (6) ヘルバルト学派の教育学 (7) 日本の教育界への影響			ペスタロッチの教育理念と教育方法論の基本的な考え方を理解し，説明することができる。 ヘルバルト教育学の基本的構造を理解し，さらにペスタロッチやカントとの関連において説明することができる。 明治期の日本の教育界におけるヘルバルト学派の教育学受容のポイントを理解し，説明することができる。			
	後期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	評価の内訳は，レポートの提出状況 10%，グループ討議・個人発表の評価（学生による相互評価の個人総合評定の平均点）20%，定期試験 70%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	歴史Ⅰ（1年） → 歴史Ⅱ・公民Ⅰ（2年） → 公民Ⅱ（3年） → [人文科学Ⅱ]（4年）						
教材	プリント教材を使用						
備考	担当教員への連絡先 TEL：087-869-3842 E-Mail：taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp						